

報道発表(お知らせ)

- 情報通信研究機構仙台EMCリサーチセンターワークショップ(第4回)を開催
(電子機器から漏洩する電波の三次元可視化技術の研究開発について)
 - 平成16年10月26日
-

独立行政法人情報通信研究機構(理事長:長尾 真)は、平成13年2月に、仙台EMCリサーチセンター(EMC-RC)を設置し、平成17年3月までの予定で「電子機器から漏洩する電波の三次元可視化技術の研究開発プロジェクト」を実施しております。この度、その研究開発進捗状況を多くの方々に知って頂くため、下記のとおり「EMC-RCワークショップ(第4回)」を、東京で開催することになりましたのでお知らせ致します。

当日は、別紙「プログラム」のとおり、基調講演及び研究開発の講演を行います。本プロジェクトのテーマである電波の可視化は、IT分野における重要な基盤技術であるEMCの課題解決に極めて効果的であり、そのブレークスルー技術として期待されています。

記

1. 日時 平成16年11月2日(火) 11時から
2. 会場 三田NNホール (東京都港区芝4-1-23)
3. 内容 別紙「プログラム」のとおり
4. 参加費 無料
5. 定員 140名 (定員になり次第、締切)
6. 参加申込 Faxにて受付
EMC-RCワークショップ(第4回)事務局 FAX: 03-5439-7320

<問い合わせ先>
総務部広報室
大崎祐次
大野由樹子
Tel:042-327-6923
Fax:042-327-7587

<担当部門問い合わせ先>
情報通信研究機構 拠点研究推進部門
林 義也、伊東紀夫
Tel: 03-3769-6826
仙台EMCリサーチセンター
平 和昌
Tel: 022-279-3627

<別紙>

情報通信研究機構仙台EMCリサーチセンター(EMC-RC)

平成16年11月2日
三田NNホール

電子機器から漏洩する電波の三次元可視化技術の研究開発
EMC-RCワークショップ(第4回)プログラム

挨拶 (11:00~11:20)

主催者挨拶	・情報通信研究機構 理事	加藤 邦紘
来賓挨拶	・総務省 総合通信基盤局電波部電波環境課長	富永 昌彦様
	・IEEE EMCS Past Japan Chapter Chair 電気通信大学 情報通信工学科 教授	上 芳夫様
プロジェクトリーダー挨拶	・東北大学 名誉教授	佐藤 利三郎

基調講演 (11:20~11:50)

総務省における最近のEMC関連施策 総務省 総合通信基盤局電波部電波環境課長 富永 昌彦様

< 昼食・休憩 > (11:50~12:50)

発表講演 (12:50~17:20)

I 近傍からの電波の可視化技術の研究開発

I-1 近傍からの電波の可視化技術の研究開発	太田 博康
I-2 光磁界プローブの侵襲性解析と周波数特性広帯域化の研究	荒川 悟
I-3 導波路型光電界プローブを用いた電界分布測定技術の研究	李 嘯河
I-4 光磁界プローブの開発と電磁界情報可視化の研究	鈴木 英治
I-5 磁界分布の高精度・高速測定技術の研究	高橋 正慎
I-6 質疑応答	太田 博康

< 休憩 > (14:45~15:00)

II 比較的遠方からの電波の三次元可視化技術の研究開発

II-1 比較的遠方からの電波の三次元可視化技術の研究開発	平 和昌
II-2 到来方向推定技術を用いた電波源位置推定の研究	加藤 崇
II-3 拡張SPM法を用いた電波源位置推定の研究	義本 祐三
II-4 振幅情報を用いた電波源位置推定と漏洩電波の信号特性の研究	吉田 剛
II-5 球面走査による電波源位置推定の研究	柏山 仁
II-6 アレー化センサの素子間相互結合に関する研究	栗井 恭輔
II-7 質疑応答	平 和昌

意見交換会 (17:30~19:00) <スペースC, D>